

令和3年度 学校経営計画書

学校番号	69 (分)	学校名	天竜高等学校春野校舎	校長名	飯田 寛志
------	--------	-----	------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

一人ひとりの生徒が夢や希望に向かって努力し、自分らしく生きることを実現する学校を目指す。

- ア 一人ひとりの生徒を大切にし、個人の学習ニーズに対応できる教育環境を整えた学校
- イ 人の役に立ち、地域の文化・産業を支えていく人材を育成する学校
- ウ 夢を語り合い、「信頼」「信用」「安心」して学ぶことができる学校
- エ 相手の心に響く元気な挨拶ができる活気のある学校

(2) 目標具現化の柱

- ア 基礎・基本を重視した学習指導の徹底
- イ 規範意識、基本的生活習慣の確立
- ウ 個に応じた進路指導の充実
- エ 部活動、特別活動、読書活動の充実
- オ 心身の健康の保持増進
- カ 危機管理意識の向上
- キ 信頼される学校づくりの推進と広報活動の充実
- ク 教職員の資質の向上と働き方改革の推進

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	多様な生徒に対する学習指導体制を整え、基礎学力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回の研究授業の実施やICTの活用、学びの基礎診断の分析を活用し、個々に応じ、基礎学力の定着に効果的な授業の改善に積極的に取り組む。 ・シラバスの内容を各教科で検討をして充実させる。 ・生徒が授業に取り組む姿勢を自覚できるように、教務課・学年が一体となって指導する体制をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の進度はちょうど良いと答える生徒の割合 (90%以上) ・先生は丁寧に教えてくれると答える生徒の割合 (90%以上) 	教務 副校長
		<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な学習を各教科で位置づけ、具体的方策を一覧化する。 ・各教科で家庭学習で行うべき内容を生徒に指導する。 ・家庭学習を習慣化させるため、定期的に家庭学習時間調査を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習時間の平均 (平日45分以上) (テスト前90分以上) ・家庭学習時間調査 (年間4回実施) 	
イ	他者をいたわり、人間関係を大事にする心を養い、問題行動の未然防止を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生を対象にスマホ・ケータイ安全講座を実施する。 ・職員全体で生徒の情報を共有し、問題を抱える生徒を早期発見するとともに早期に適切に対応できるよう協議する。 ・ホームルーム、授業、部活動等で日常的に挨拶や言葉遣い、服装等の指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題行動の件数を前年度より減少させる。 (令和2年度3件2名) 	生徒・保健
		<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を招いて「人間関係づくり」や「コミュニケーション」について学ぶ機会を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して落ち着いた学校生活を送っていると答える生徒の割合 (85%以上) 	教頭

様式第 1 号

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
		<ul style="list-style-type: none"> ・集会時の講話により、他者をいたわり人間関係を大事にする意識を喚起する。 		
ウ	生徒一人ひとりに寄り添い、よりよい進路を見つけ、その実現を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・面接週間を実施し、生徒一人ひとりの進路希望状況を把握する。 ・進路講話や SST 講座、進学補講・基礎学力補講等を実施し、環境整備を行う。 ・生徒、教職員、家庭が連携し、生徒一人ひとりが納得できる進路実現を果たす体制を構築する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路についての指導が適切になされていると答える生徒の割合（85%以上） 	進路
		<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業との連携や外部講師の招致、卒業生の活用を積極的に行うとともに、社会で起きていることや必要とされる人物像等への理解を深める機会を多く設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年進行に応じて、進路講話や企業・学校見学、進路ガイダンスを実施 	
エ	環境を整え、部活動、特別活動、読書活動において、充実感が得られるよう指導する。	<ul style="list-style-type: none"> ・各部の予算配分を適正に行う。 ・県大会出場部活の壮行会を実施する。また、文化部の発表会等を広報し、学校全体で応援する雰囲気を醸成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動に積極的に参加し充実していると答える生徒の割合 (80%以上) 	生徒・保健
		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会執行部を中心に、生徒が主体となって企画・運営できる学校行事を実施する。（春祭祭・体育大会・球技大会など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事が充実していると答える生徒の割合 (85%以上) 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の朝読書を実施する。 ・すべての生徒が、夏休み読書感想文を書くよう指導する。 ・授業における図書館利用の機会を増やす。 ・放送図書委員会の生徒による広報活動に力を入れ、図書館利用を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書の時間は読書に親しむのに役立っていると答える生徒の割合 (80%以上) ・図書館の内容は充実していると答える生徒の割合 (80%以上) 	総務・図書
オ	自己健康管理ができる生徒を育成するとともに、教育相談体制の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・健康管理ができる基礎作り（栄養面での充実を含めて）のため、個別指導を行う。 ・さまざまな機会を利用して、生徒・保護者に朝食の大切さ、健康管理の大切さを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健関係たよりの発行 (月 1 回) ・生徒の状況把握調査 (年 2 回実施) 	生徒・保健
		<ul style="list-style-type: none"> ・気になる生徒の情報の共有化を図るため、生徒サポート委員会を実施する。 ・生徒の心のケアを充実させるために、スクールカウンセラーや外部機関との連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生は悩みや相談に親身になってくれると答える生徒の割合 (85%以上) ・生徒サポート委員会 (週 1 回程度開催) 	教頭

様式第1号

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
カ	校内の危機管理体制を整備するとともに、危機管理意識を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急連絡用メールの登録を推進する。 ・生徒の防災意識を高めるため、効果的な防災訓練を実施するとともに、地域防災への積極的な参加を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練実施 (年間3回) ・地域防災参加率 (60%以上) 	副校長 教頭
キ	地域・保護者との連携を推進し、信頼される学校づくりを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化の活動や社会貢献活動に積極的に参加させる。 ・特別養護老人施設「秋葉の苑」や地元幼稚園、春老連との連携事業を行う。 ・PTA役員の学校行事への参加を働きかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流やボランティア活動をしていると答える生徒の割合 (50%以上) ・春祭祭へのPTA役員出席率 (90%以上) 	総務・図書
		<ul style="list-style-type: none"> ・本校の教育活動を広報するため、定期的に「春校だより」を発行する。 ・学校の活動の様子をタイムリーに幅広く情報発信するため、HPを積極的に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・春校だより発行 (年間4回以上) ・HPの更新 (毎月4回以上) 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・管理職、教務課、教科担当者等と連携を図り、学校経営計画並びに中長期を見据えた効果的な予算執行を行う。 ・法令遵守を徹底し、適正な予算執行を行う。 ・定期的に校内を巡視し、老朽箇所や危険箇所を早期発見するとともに、必要な予算要求や改修を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・監査・検査の文書指示・指摘件数 (0件) ・校内での事故・災害箇所 (0件) 	事務
ク	研修を通じて教職員の資質の向上を図るとともに、教職員の働き方改革を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の資質向上、授業改善のための職員研修を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修会の実施 年5回 	副校長
		<ul style="list-style-type: none"> ・不祥事根絶研修を計画的に実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不祥事根絶研修の実施 月1回 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・業務の見直しと、休暇のとりやすい環境整備、早い時間での退勤について積極的な呼びかけを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平均18:30までの退勤 	